

メンテナンスについて

1. 本器内の不純物の付着等による性能劣化は、最低10年間はありませんので、本器内のメンテナンスの必要がありません。また、プレフィルタの後では決して目詰まりすることはありませんので分解しないで下さい。
(※調整しながら組み立てていますので、分解しますと元に戻すことはできません。)
2. 例え下部のドレンポットに粘性の高い物質が付着しても、ドレン弁を全開することによって構造上直下へブローすることができます。
3. 万が一、不具合が発生した場合は、直ちに末尾の住所まで直接ご連絡下さい。

サービスを依頼される前に

不具合やエア機器の故障が発生した場合、その緊急性から速やかに修理することがその設備において何よりも重要なこととなります。「**ミストオール**」の故障の原因は以下の項目に該当しますが、緊急性を要する場合は、どうか末尾の住所まで直接ご連絡頂きますようお願いを申し上げます。

	症 状	原 因	解 決 方 法
1	水分がほとんどとれない	入気温度が高くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> ●コンプレッサの後に5m以上の太目のビニールホース(ゴムの場合は放熱しにくい)を設置するか、アフタークーラーを設置して下さい。 ●オートドレンをチェックして下さい。
2	細かい水分がとれない	「ミストオール」 の入口側に大きな抵抗がある	<ul style="list-style-type: none"> ●「ミストオール」の直前にプレフィルタと直管パイプが設置してあるかどうかご確認下さい。 ●「ミストオール」の一次側2～3m以内のカプラ、レギュレータ、ストップバルブ、ミクロンフィルタ、異型ニップル、ゴムホース等の抵抗機材を二次側に移動して下さい。
3	油分がとれない	「ミストオール」 内の静圧が下がっている。	<ul style="list-style-type: none"> ●「ミストオール」の出口側に、レギュレータを設置して下さい。 ●0.1ppm以下の仕様はもう一個の「ミストオール」を直列に配置して下さい。
4	圧力損失が大きい	配管に130%以上の処理流量が流れている。	<ul style="list-style-type: none"> ●プレフィルタと直管パイプの設置をご確認下さい。 ●より大きい型式でご選定下さい。(状況により無償で交換いたします。)
5	水分、油分がとれなくなってきた	プレフィルタが目詰まりを起こしている。	●プレフィルタのこし器を交換して下さい。
		使用流量が以前より多くなった。	●より大きい型式をご選定下さい。